

シルバー人材センターで配布中

「広報えびな」は毎月2回、市シルバー人材センターの会員が各家庭へ直接配布しています。お手元に届かない場合はご連絡ください。

同センター (☎292・0303)。

広報えびな

編集・発行

海老名市役所 市長室

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

☎(046)231-2111 FAX(046)233-9118

URL http://www.city.ebina.kanagawa.jp

朝の通勤ラッシュの乗降客で混雑する現在の通路



海老名駅

自由通路 年度内着工へ 設計内容・工事期間の中間報告

市では、海老名駅自由通路（駅舎部）について、昨年度末の計画見直しをもとに、変更実施設計に取り組んでいます。また、みなさんが一日も早く快適に利用できるように、関係者間での協議も進めています。今回は、9月末時点での設計内容や工事期間などの概要を、中間報告としてお知らせします。

概算事業費は約94億円

自由通路は、延長が88メートル、有効幅員12メートル、天井高5・4メートルとなり、当初の詳細設計と比べ、クランクの形状を緩やかにしたり、東口自由通路との接続部分に隔切りを設置するなど、利便性を向上させます。9月末時点での概算事業費は全体で約94億円です。この概算事業費を部位別にする、自由通路本体が約30億円、小田急駅舎関連が約62億円、相鉄駅舎関連が約2億円となります。

年度内着工に向けて

変更実施設計は10月末に完成する予定で、完成した設計をもとに全体事業費を積算します。今後は、今年度内の着工に向けて、市と鉄道事業者で費用負担の協議を進めていきます。費用負担は、①自由通路本体と小田急駅舎

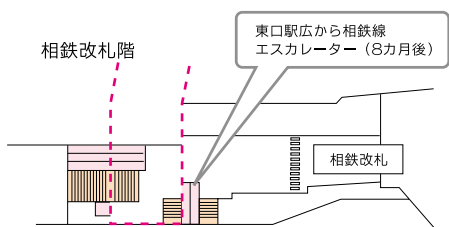
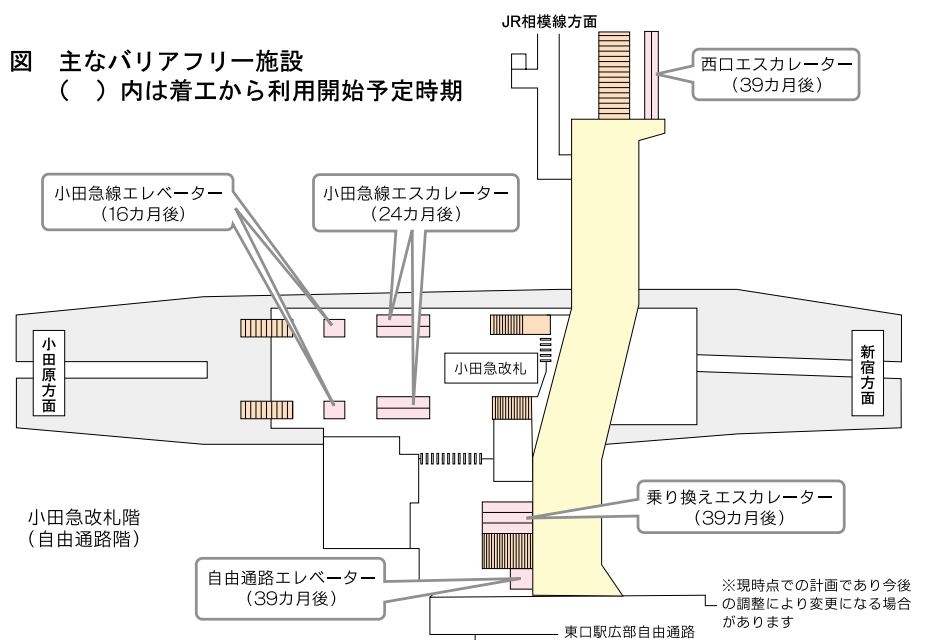
相鉄駅舎の機能回復は海老名市負担②小田急駅舎の増加増強は小田急負担③駅前広場、各鉄道改札階と自由通路を結ぶエスカレーターやエレベーターは3者で負担を基本として、工事の面積割合で按分する、3者で協議します。

利用開始は着工後48カ月

着工は、事業の費用負担の積算と負担割合決定後となります。自由通路の利用開始は着工から48カ月後で、全体工期は約56カ月を想定

定しています。主なバリアフリー施設の利用開始予定時期は、右図のとおりです。市では、事業の進捗状況など、今後も引き

図 主なバリアフリー施設 () 内は着工から利用開始予定時期



問 駅周辺対策課

続き広報や市ホームページなどで市民のみなさんにお知らせしていきます。